

現在担当している学部の授業科目は

- ・ 1年後期 機械・システム工学科概論 II (全教員参加：研究室紹介)
- ・ 2年前期 学際実験・実習 (知能ロボットプロジェクト)
- ・ 2年前期 ロボット工学基礎実験 I (電気回路 (RC 回路))
- ・ 2年後期 ロボット工学基礎実験 II (組み込み用マイコンによる周辺機器制御)
- ・ 2年後期 制御工学 I(b)
- ・ 3年前期 制御工学 II(b)

です。

ロボット工学基礎実験 I・II 共に2週間の実験の結果をレポートとして提出させ、その結果を元に成績の評価を行います。レポートの評価に際してチェックしている項目と、各項目に関連して必要な記述事項を段階ごとに分けてルーブリックを作成し、Web class を利用して学生に事前に提示すると共に、初回のレポート返却の際にはルーブリックによる評価結果も添付することを 2016 年から継続しています。

実験の冒頭でレポートの評価にルーブリックを用いることや、実験中に記録を取る際にもルーブリックを意識するようにとの注意を与えているため、学生は事前に用意をしているようですが、提出されたレポートではそれらの評価基準は相変わらずあまり意識されていないと思われます。学生の意識の改善を図ることが課題ですが、今まであまりうまくいきません。

ルーブリックは、一番右の列を最低のレベル1とし、左に移るに連れてレベルが上がるような表にしています。インターネットで検索すると出てくるルーブリックのほとんどが、左側がレベル1で右に行くほどレベルが上がる形になっており、自分のルーブリックの並び方を変えるべきか悩んできました。ところが、12月6日の関西大学の多田先生のFD講演会で配られた資料のルーブリックの例が、右端が最低レベルで、左に行くほど高くなるという並びになっており、心強く思いました。

余談ですが、工学部改組も完了し優秀教員(The Teacher of The Year)として、コースから1名が選出されるようになって今回が2回目の実施だと思えます。以前から選出される教員が固定され気味でしたが、選出人数がそれまでから半減したことで、ますます特定の教員に受賞が固まるのではないかと考えています。教員の意欲を高めるという意味でも、優秀教員の選出数をコース2名とすることを検討いただければと思います。リワードとしての予算の補助は無くても良いと思いますので。